

畿央大学後援会だより

発行：畿央大学後援会
2012年3月21日
第7号



ごあいさつ

畿央大学後援会 会長

上山 準大

畿央大学後援会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、後援会活動にご理解、ご支援をいただいておりますことに、厚くお礼申し上げます。

先日、あるエッセイに、新しい職場に替わった2人の青年のことが書かれていました。一方の青年の職場は、「ありがとうございます」「お陰様で……」といった言葉が自然に交われ、笑顔の絶えない職場であり、もう一方の青年の職場は、交わされる言葉も少なく、皆が淡々と仕事をこなしていく職場であったようです。その後、この2人の青年はどうなったのか…。実は、2人とも、それぞれの職場がとても気に入って、頑張っているのだそうです。

人は兎角、第一印象や見た目にも左右されがちですが、時間をかけて「観察」すれば、良いところも悪いところも見えてくるものです。後者の青年が勤める職場は、なんとなくイメージが悪く聞こえますが、仕事の特性や個人の性格等を考えれば、「絶対にこれがいい（悪い!）」と決められるものではないのだらうと思います。

頭を柔軟にし、多様化する価値観にも対応しなければということを出会いと別れの季節、春にあたって考えさせられました。

後援会の皆様へ

学校法人冬木学園 理事長
畿央大学 学 長

冬木 智子



日本の四季を表現する弥生の空、様々な想いをこめて迎えた春、今ここに畿央大学は開学10年目の明るい息吹に満ちております。各学部、学科の卒業生達も多方面にて有能な人材として迎えられ、つづく後輩達に熱い声援を送って頂いております。これも後援会の皆様方の期待と深い愛情にお応えするべく自己の道に精進している成果であると存じ深く感謝している次第でございます。

この時に当たり改めて本学園が創立以来60有余にかけて遵守しつづけて参りました建学の精神「徳をのばす・知をみがく・美をつくる」の道程のあかしであると信じたく存じます。今春には、引きつづき憧れと希望を抱いた多くの新入生を迎えることになり、本学におきましては全教職員一致協力致しまして、責任と理想を抱いて努力して参る所存でございます。冬木学園あげて今後益々広く世界に向かって貢献し得る人材を輩出出来得ます様変わらぬご支援をお願い申し上げます。重ねて皆様の御健勝、御多幸をお祈り致しましてご挨拶とさせていただきます。



答えを覚える勉強から 自分で答えを見つける学習へ

健康科学部長・健康科学研究科長 金子 章道

畿央大学後援会会員の皆様からは、本学の教育に対し日頃より深いご理解と多大なご支援を賜り深く御礼申し上げます。

最近、素粒子ニュートリノが光よりも早く飛んだという報告が話題になっています。アインシュタインの相対性理論が覆るかもしれないからです。さて、学生たちにとって高等学校までの勉強では問題に対する答えを覚えることが主な勉強方法でした。正解は一つだと教えられてきました。しかし、大学では自分の頭で考えて解答を見つけることを求めます。答えは一つだけではありません。絶対の真理として皆が信じてきた相対性理論にすら、疑問を呈してそれを証明しようとする研究者がいます。この態度が大学生に求められる学習態度です。これからの人生で起こる様々な問題に対して答えは一つだけではないからです。私の授業では「知識」を教えるだけでなく、考え方を学んでもらうことに重点を置いています。どうか本学の大学教育に対する会員各位のご理解とご協力を切にお願いいたします。

詫びる教育

教育学部長 白石 裕



卒業・卒園式と入学・入園式のこの時期、惜別と新たな門出の喜びが入り交じる学校ならではの感動の光景が繰り広げられます。とくに卒業式は、生徒や学生のなかにそれまでの学園生活の思いが込み上げてくるのか、こちら思わず目頭を押さえるシーンに出会います。晴れやかな表情で友との再会を互いに約束している卒業生を見ていて、私は本当に彼らのために最善と思われることをしたのか、自責の念にかられることも少なくありません。

障がい児の教育施設、信楽学園の園長であった池田太郎氏は、教育の要諦として、子どもとのスキンシップを大事にする「触れる教育」、子どもを客観的に見る「離れる教育」、そして子どもに最善の教育をしたかどうかを自省する「詫びる教育」の3つをあげています。新たな道に向かって飛び立とうとしている卒業生を前にして、教員が自らの教育を省みるというのも卒業式の隠れた機能ではないかと思っています。

007-1200	ごあいさつ	P 1	人間環境デザイン学科	P 5
	健康科学部 理学療法学科	P 2	教育学部 現代教育学科	P 6
	看護医療学科	P 3	後援会会員の声	P 7
	健康栄養学科	P 4	授業日カレンダー	P 8

メッセージ

理学療法学科
学科長
庄本 康治



保護者の皆様には、日頃より本学科の運営、教育にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

理学療法学科では学内実習はもちろんのこと、対象者と実際に接する学外実習を重

要視しています。今までの学外実習は、1 回生夏期の「チーム医療ふれあい実習」、2 回生夏期の「見学実習」、3 回生冬期の「評価実習」、そして4 回生の「総合臨床実習」でした。

今年度から2 回生の見学実習を「検査・測定実習」に内容を変更しました。奈良、大阪、京都の20施設で2～3月に3日間実施するこの実習では、2 回生時に一部履修する様々な検査測定を対象者に実施させて頂きます。また、問診したり、簡単な介助をしたり、理学療法士の補助をしたりします。従って、様々な専門家はもちろんのこと、ご家族も含めて多くの方々とのコミュニケーションを取ることが必要とされます。ところで、2 回生のこの時期は、大学に

慣れる反面、難しい履修科目が多く、目的を見失いがちになる学生さんも居ますが、この実習で障がいをお持ちの対象者と接することで、自分自身を見つめ直す学生さんが多いようです。この実習を早めに終了した男子学生数名が、先日私の研究室に入ってきて、「もう一度、1 回生の解剖学、生理学を徹底的にやり直します。患者さんが頑張っているのを見て、自分のダメさを痛感しました。気合い入れ直します！」と興奮して話していました。見た目は派手な今風の男子学生たちですが、彼らの眼光是生き生きとしていて、「やる気スイッチ」を押して頂いた対象者さん、ご協力頂いている施設の方々に感謝の気持ちで一杯になりました。

国家試験対策の取り組み

国家試験対策は本格的には「卒業研究」の終了する11月前半からになります。しかし、高得点を取る学生は8月頃から1日1時間程度の勉強をコツコツと開始しています。10月頃になると卒業研究も一段落しますが、この頃には1日に数時間勉強してい

る人も居ます。一方、11月前半までに全く勉強していない学生も少数居るのが現状です。以前にも報告させて頂きましたが、今年度からは11月中旬から月曜日から金曜日までの9時から16時10分までの時間に全員出席してもらっています。結果的には、早くから大学に来て、生活のリズムも出来、良い結果を引き出していると考えています。また、定期的模擬試験の成績不良者に対しては教員の個別指導、面談なども頻回に実施しています。国家試験対策科目（理学療法総合演習）の単位認定方法は図1の通りです。

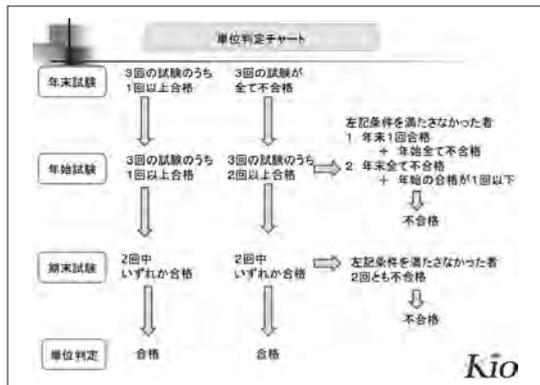


図1 国家試験対策科目（理学療法総合演習）での単位認定方法

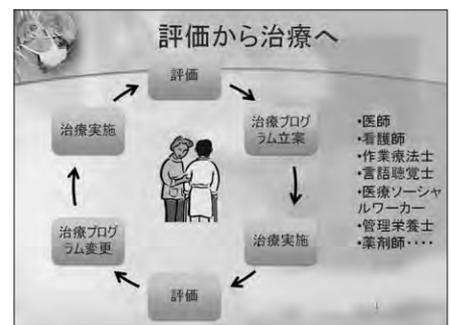


図2 3 回生評価実習から4 回生総合臨床実習の内容

としています。実際に患者さんと濃厚に触れあう初めての实習になります。3 回生評価実習でこれらを完全に把握してから、4 回生総合臨床実習では治療プログラムをたて、実際に指導者と一緒に治療を実施していく事になります（図2）。今年度の4 回生総合臨床実習では69名が実習に参加しましたが、誰一人途中で中止になることなく、全員が合格することになりました。途中で中止になる人がいなかったのは開学以来はじめてのことです。

3 回生が新年会を開催しました!!

平成24年1月5日（木）に理学療法学科3 回生が企画した新年会が開催されました。3 回生はこれから、2月の臨床評価実習（3 週間）、4 回生前期からの総合臨床実習1 期・2 期（8 週間×2 回）と、合計19週間（4.5カ月）にわたる実習を控えています。

実習先で患者様と向き合いながら、今まで学んできたものを全てをぶつけていく大きな「試練」を前に、「不安を払拭し、実習に向けて気持ちを一つにしていきたい」という趣旨で学生が自主的に企画したのが、今回の新年会です。

3 回生全員で実習の不安を忘れるような楽しい時間を過ごし、改めて自分は「一人ではないと自覚する」という今回の新年会の目標に沿った時間を過ごせたと思います。漫才やダンス部と軽音部がコラボレーションをする企画など様々な企

画があり、みんなですべて楽しむことができました。

冬木記念ホールでの新年会の後は、

理学療法学科の先生方といっしょに懇談する機会を設け、日ごろの不安や実習に関する思いを話すことで、少しは気持ちが落ち着き、今後の勉強や実習のモチベーションが向上しました。

実習では1人で頑張らないといけませんが、気持ちはみんなつながっていると再確認できた1日でした。来年は国家試験の勉強もありますが、息抜き程度でもみんなが集まって第4 回新年会を開催したいものです。代表 津田宏次郎



メッセージ

看護医療学科
学科長
伊藤 明子



後援会の皆様には、日頃より本学の教育にご理解とご協力を賜り、心よりお礼申しあげます。本学で最後に誕生した看護医療学科も早4年、1期生が晴れて3月14日に卒業の日を迎えました。今は、国家試験全員合格を心より祈るばかりです。先輩のいない1期生は教員の後ろ姿に自らの夢を重ね、

また、教員は学生の反応を敏感に感じとり、試行錯誤の日々を過ごしたように思います。

学科の特色として取り組んだ「チーム医療で活躍できる人材の育成」の教育成果は、卒業生が就職した職場での活躍にかかっており、チーム医療での連携力や人間的な魅力が評価され「畿央大学を卒業した看護師さんは違うね」と言われることだと考えています。卒業後も就職先との情報交換、連携を密にして支援したいと考えています。

新4回生は、昨年9月から始まった17週の臨地実習を終え、既に卒業研究にも精力的に取り組んでいます。先輩の振り返りから、早い時期に国家試験受験の実力を自己評価できる体制を整備したいと考えています。新3回生には、後期から始まる臨地実習での経験が将来の学びの基礎であることを伝え、基礎医学の知識をもとに患者ケア

に関するエビデンス基盤を構築し、さらに特定状況下における「重要性和非重要性の識別力」を身につけて欲しいと願っています。新2回生は、最も近い学年として新入生を暖かく迎え先輩後輩の絆を深めて欲しいと思います。

「人のこころは他者の森だ」と言われます。自分とは異なるいろんな人のいろんな意見を取り入れてその人の心ができるということです。そんな他者の森の中に揺らぎのない大樹が一本立っていると人の心は安定します。専門職としての連携力、人間力は「心の骨格をつくること」だと信じ、これからも一層の精進を重ねたいと存じます。今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

初めての国家試験対策を振り返って

初めての国家試験は、2月17日に69名が保健師国家試験（98回）、同月19日に71名が看護師国家試験（101回）を受験しました。合格発表はどちらも3月26日です。

卒業後の進路は、ほとんどの学生が4月から病院で看護師として就職する予定です。4月に開設される本学助産学専攻科には、4名が進学します。

自由な雰囲気の中で伸び伸びと学生生活を過ごしてきた1期生ですが、患者様の生命や健康に直接携わる職業を選択したので、厳しさも求められます。4回生前期には本試験に準じた模試を受験、学生個々の学習成果の分析や進捗状況等についての説明も行いました。大学生なので、自分の夢は自分でしかつかめないことが分かっているはずですが、夏休みには全員を対象とした補講、成績の振るわない学生には、ゼミ担当教員のマンツーマンでの指導、学習成果が顕れず本当に頑張らないと間に合わない学生を対象とした「崖っぷち特別講座」を開設して、学習の仕方へのアドバ

イスや基礎的な知識の確認もしました。さらに、キャリアセンターの学科担当者は、講座の成績を集計し、個人面談やメールでの励ましをするなどのサポートをしました。臨地実習の指導で学内に残る教員が少なくなるなか、学科長や学科主任、基礎領域の教員などで「崖っぷち特別講座」を続行、予備校の講師を招いての特別講座の開講や、年末年始の少人数特別講座、年間通じての自習教室の提供など、学生の要望も取り入れながら、やれる努力は全てして国家試験に臨んだところです。

学生の努力の成果は、12月に実施された全国模試成績761校中44位、1月に実施された模試では400校中12位になるなど、全国学校順位に顕著に現れました。一方、個人別の成績でみると基礎的なところがなかなかクリアできない学生もいました。このこと

国家試験(看護師・保健師)対策 模試関連のマスタープラン

回数	時期	内容
1回生	前期	
	後期	9月 国家試験対策説明会
2回生	前期	4月 分野別模試(人体構造機能学・感染免疫・基礎看護学)
	後期	9月 分野別模試(病理病態学・薬と健康)
3回生	前期	4月 基礎学力到達度チェックテスト
		6月 専門基礎科目・必修問題
	後期	1月 保健師模試
		3月 eラーニング
4回生	前期	4月 分野別模試(人体構造機能学・感染免疫学・基礎看護学) 基礎学力到達度チェックテスト
		6月 第1回全国公開模試
		8月 第2回国試対策テスト
		9月 分野別模試(薬と健康)
	後期	10月 保健師対策模試 第2回全国公開模試
		11月 第3回国試対策テスト
		12月 国試合格チャレンジテスト
		1月 保健師模試 第3回全国公開模試

から国家試験受験の間際になって慌てるのではなく、入学時から基礎となる専門科目をしっかりと理解しておくことが、何より大事だと痛感いたしました。夢をチカラに変えるのは、学生自身です。教職員は全力でサポートいたしますが、保護者の皆さまにおかれましても、目を配って頂きご指導の程よろしくお願いたします。

健康の価値観を実感したフィールドワーク

私たちは、保健行動学の授業の一環として、お年寄りの健康に対する思いを知り今後の看護学の学習に活かすために、明日香村へとインタビューに行きました。明日香村は私たちが暮らしている環境とは全く違いました。自然に囲まれた自給自足の生活や現代に失われつつある人と人との関わりが自然に行われているような、のんびりとした場所でした。そのようなところで暮らすお年寄りや接し感じたことは、畑で野菜を作ることや健康維持ができ達成感が得られることや、信

頼できる医療機関があることで安心した生活ができること、そして人と人とのつながりの中で心が満たされるということでした。また、健康には人それぞれの価値観があり、たとえ少しの心身の不自由があったとしても、その人が「健康だ」と思うことができればそれは健康であるということなのだと思います。今回のフィールドワークではとても貴重な経験をさせていただきよい勉強になりました。

看護医療学科1回生 尾崎友美



メッセージ

健康栄養学科
学科長
北田 善三



保護者のみなさまには、日頃より本学科の教育にご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

本学は、ご存じのように2学部5学科で

構成されておりますが、私は常々その構成が本学科にとってはとてもありがたい構成であると感じております。例えば、1回生の8月に開講されている「チーム医療ふれあい実習」で医療現場での体験実習があり、医療系をめざす学生にとっては大変貴重な経験になります。残念ながら20名しか参加できませんが、これが実施できるのも看護医療学科、理学療法学科の協力があるからです。また、本学科では栄養教諭一種免許を取得することができ、毎年10数名がこの資格を取得し、その中には栄養教諭として採用される者もいます。採用試験はかなりの難関ですが、平成24年4月からは卒業生も含めて新たに4名が栄養教諭の職に就き

ます。これも教育学部及び教職支援センターの協力があるからです。

さらに、本学はコミュニケーション力を身につけることを目標の一つにしていますが、これについても人間環境デザイン学科、教育学部の先生方に協力を頂いております。また、スポーツ栄養関係の科目をいくつか開講しておりますが、これについても理学療法学科の先生方に協力を頂いております。

このように本学に設置された学部・学科は、特に本学科にとってはとてもありがたい構成になっており、今後もこの絶妙な構成を大いに生かした教育を推進してまいりますので、ご支援のほどよろしくお願い致します。

健康栄養学科の国家試験対策について

様々な医療・福祉系資格試験の中でも管理栄養士は合格率が低く、昨年の全国合格率は約40%でした。この難関を乗り切る最短ルートは「管理栄養士養成施設を卒業して最初の試験で合格する」ことです。本学の健康栄養学科では、管理栄養士国家試験の現役合格をめざし、2～4回生において国家試験対策の授業を行っています。特に4回生では専門科目を担当する学科全教員

が持ち回りで毎週講義や演習を実施し、1～3回生で習った専門分野の内容を復習しながら国家試験形式の問題を解く力を身につけていきます。夏期には受験対策を専門とする外部講師を招いて集中講義を行うとともに、年間を通じて模擬試験や定期試験を適宜行い、試験問題の復習を通じて学力の向上を図っています。

これまでの国家試験対策の経験から感じることは、「合格の確率は、勉強に対する熱意と勉強量に比例する」ということです。広範囲の専門分野から出題される試験であるため、早い時期から国家試験突破を意識して勉強に取り組んでいくことがとても大切です。しかしながら、我々が教えられることは限られているので、いかに国試に対する意識を持たせるかに重点を置



いて指導しています。最初はどのように勉強すればよいのかわからずとまどっていた学生も、国家試験が近づくにつれて顔つきが変わってきます。勉強に対する意欲が深まってくるので、時々こちらが質問攻めに合うほどです。

卒業生全員が管理栄養士の資格を取得し、食と栄養のスペシャリストとして社会で活躍することをめざし、今年も学科の総力をあげて国家試験対策に取り組んでいきますので、ご家庭でもご協力の程をよろしくお願い申し上げます。



奈良県中央卸売市場主催

「冬の市場まつり」に鍋ものを出展しました。

奈良県中央卸売市場主催「冬の市場まつり」が、平成23年11月27日(日)に開催され、本学健康栄養学科有志(指導教員上地・柴田・新谷、学生14名)による鍋ものを出店しました。同市場の総面積は甲子園球場3つ分が入るほど広く、魚介、肉、野菜、乾物などの卸商がひしめき、当日は業務が一段落した朝8時から始まり、13時には終わるという卸売市場ならではの時間帯でした。天候も良く1万人以上の来場者がありました。

畿央大学のほか奈良女子大学、奈良佐保短期大学がそれぞれ特色ある鍋もので競演、本学は『畿央部屋のほっこりえみ(笑み、塩味)ちゃんこ鍋』を提供しました。具材は市場提供の新鮮なクエ、カニ、ハマグリ、烏だんご、しめじ、しいた

け、エリンギ、冬瓜、大根、白菜、人参、水菜などをたっぷり使って、ベースはあっさり塩あじ加減の和風だしで仕上げました。前日は半日かけて具材を下調理、当日は早朝7時集合という強行スケジュールにも関わらず、販売開始と同時に長い列ができ、わずか1時間で250食を完売し、充実したイベント出店になりました。

日頃、給食実習では大人数分の調理をしていますが、今回は100人用鍋釜2つと中小の鍋を使って、さながら災害非常時の炊き出しに似た感じで、学生たちにとっても良い体験になったに違いありません。売上金は募金として9月の台風12号で被害を受けた十津川村はじめ県内被災地支援復興資金の一部に充てられました。



メッセージ

人間環境デザイン学科
学科長
三井田 康記



平素より、本学の教育にご理解とご支援を賜り、ありがとうございます。

卒業研究発表会も、学期末試験も終わり、学生たちは卒業と新学期を待つばかりとなりました。

2月の半ばまで、毎日、徹夜も辞さずにゼミ室や研究室で卒業研究や卒業制作に励んでいた学生たちも姿を見せなくなり、熱気にあふれていた学内も急に静かになりました。

4回生は3月3日、4日に奈良町センターで卒業制作展を行いました。展示室でスポットライトを浴びると、卒業作品もそれを制作した学生も輝いて見えます。学生同士で相談し、協力し合って、展示作業を行ってくれる姿に頼もしさを感じました。入学したときは頼りなさそうに見えた学生も、4回生になると、こんなにも成長しました。

2回生、3回生は、後期に「プロジェクトゼミ」を行いました。この授業は、学年

を超えて、少人数のグループを組み、教員の指導のもと、課題を探り、解決策を考える、ゼミ形式の授業です。

あるゼミでは御所市の明治半ばに建てられた古い木造郵便局を実測し、地域の老人たちが来街者をもてなす場として再生する計画を作り、御所市役所で市長や町の人を前に発表しました。また、別のゼミではある店舗の改装計画を作りました。どこに問題があるのかを話し合い、具体的な解決案を考えます。回を重ねるにつれて、学生たちの取り組む姿勢も、発表内容も、すばらしいものになり、教員一同驚かされています。

新しい学期には、さらに成長を見せてくれるものと、心から期待しています。

人間環境デザイン学科の資格対策について

・建築・まちづくりコースでは

建築士を中心とした資格をめざすコースです。建築士を目指す学生に対し、本校では資格専門学校と提携して在学中4年次から二級建築士対策講座を提供しています。

現在卒業生から続々と二級建築士合格の知らせも届きつつあります。第1号の一级建築士取得の知らせが届く日もそう遠くはありません。

・インテリアコースでは

インテリアに関連した資格をめざしています。授業科目「インテリアデザイン演習Ⅰ」でインテリア設計士の試験対策と直結した内容の演習課題を行っています。毎年十数名が受験していますが、ほとんどの人が合格しています。また、平成23年度には

インテリアコーディネーターの資格を在学中に取得した学生が生まれました!! 6期生の岡村若奈さんです(写真右)。畿央大学第1号のインテリアコーディネーターとして、今後も活躍を願っています!!

・造形デザインコースでは

中学校・高校の家庭科教員免許や色彩検定、認定心理士といった幅広い資格の取得が可能です。

授業科目「色彩学Ⅰ・Ⅱ」では色彩検定の試験対策となる授業内容となっています。

家庭科教員については、免許取得だけでなく、平成22年度、平成23年度と見事教員採用試験に合格し、現在家庭科の先生として活躍している卒業生がいます。



卒業制作の作品を説明する岡村若奈さん

卒業研究・制作発表会を開催

卒業研究・制作発表会が2月13、14日と2日間にわたり行われました。建築デザインや住居学環境学などの研究、インテリアデザインや家具づくり、またアパレルではファッションデザインやワークショップから生まれた商品開発など、44名35グループが発表しました。その中で見事学長賞を受賞したのは、佐藤ゼミの植村文彦くん、廣瀬学くん、堀川裕亮く

んの3人です。彼らの研究は3年次のプロジェクトゼミから始まりました。景観を損なっていた日覆いにかえて、吉野のまちなみ景観にふさわしいデザインで遮光できないだろうかと考え、町並みの色彩や遮光方法を2年にわたり実験研究してきました。そして店内への透視性や店頭の商品をいためる紫外線への対策を考慮し、軒先にとりつける淡い色合いの寒冷紗カーテンを開発することができました。暑い夏も、寒い冬も何度も足を運んで実験を繰り返し、また調査には吉野の多くの方にご協力いただいたおかげで、4年間の集大成である卒業研究に花を咲かせることができたと思います。



メッセージ

現代教育学科
学科長
安井 義和



本学後援会の皆様には、教育学部現代教育学科の教育活動に温かなご理解とご協力を賜り、心よりお礼を申し上げます。

昨春の東北大震災以来、日本の将来の姿が混沌とし、未来の姿が何処にあるのかが不鮮明になっています。今までは物質文明を余りにも求め過ぎて来たのではないかと思われます。もっと人々のソフトな幸せ、目に見えない内容を私たちは求めていくのがベターではないかと思えます。その原動力は教育こそが大きなウエートを占めると確信します。「徳・知・美」を更に深く考え、現代教育学科の卒業生が多様な場所で目的の職に就き、畿央大学で学んだことが

有効になるように、「畿央大学で良かった！」と卒業生が思ってくれるように、私たち教職員も頑張っていきたいと思っています。そのためには私たち教職員一同が常にみずみずしい感性を持ち、学生以上に精進・努力することが不可欠と思っています。「教員も更に頑張ろう!!」と気を引き締めているところです。

現代教育学科の全ての学生が、10年後、20年後に、「現代教育学科で良かった」と思えるようにしたいと思います。学生の頑張りが重要ですが引き続いての保護者皆様のご支援・ご協力を心よりお願いいたします。

教員採用試験の取り組み 本当に畿央でよかった!!

教育学部3期生となる4回生が、今年度も、自らを奮い立たせ、大学や友だち、家族、先輩からの支えを頼りに、長期の受験勉強や受験当日、合格発表の不安と緊張を、見事に乗り越えてくれました。

その結果、まず、小学校では昨年度を上回る52名が最終合格し、合格率でも昨年の60%を越えて62%となりました。養護教諭も昨年度より1名多い6名が最終合格しました。さらに、公立幼稚園・保育士教諭は、7名が最終合格する素晴らしい結果となりました。さらに、講師として現場に立ちながら受験勉強をし、教採に再チャレンジした一期生や二期生からも、合格のうれしい知らせが入ってきています。

勉強のコツは、メリハリをつけること、一人ではなく複数で勉強すること、

仲間と一緒に学習するときと自分のペースで学習するときをバランスよく組み合わせること、積極的に対策講座に出ること、焦らず継続的に自分流の勉強スタイルを作ること。

今年の受験体験発表会での4回生の言葉です。実に、畿央大学らしい勉強のコツであり、自分たちなりのスタイルです。そして、タイトルにも挙げた一言が、次の言葉です。

教採は団体戦。まさにその通りだと思います。本当に畿央でよかったって思います。来年からは現場で頑張ります!! ありがとうございます!!!

みんなで励まし合って共に取り組む畿央

大学によさとパワーが、学内にも、そして、学校現場にも、どんどんと広がっています。



2回生も頑張っています!

教科力と実践力の向上をめざす畿央大学教育学部には、2回生が参加する「現代教育研究会」があります。

教育学部の教員の指導のもと、学生は7、8人ずつのグループに分かれ、保育、小学校の教科等、中学校の英語、保健指導の模擬保育や模擬授業に取り組めます。

保育や授業の当番の日が近づいてくると、学生はグループで集まり、何度も保育案や指導案を練り合います。また、教材を作ったり、練習をしたりして、本番に臨みます。



当日は、教師役、子ども役、参観者に分かれ、45分程度の保育や授業をします。

特に、終了後の授業研究会では、どんどんと手が上がり、よりよい保育や授業に向けての改善点がたくさん出されます。こうして鍛えられた教科力と実践力、さらにチームで授業や保育研究をしていく力は、教育実習や教員採用試験、そして現場に出てからの大きな力になっています。



明日を見つめて

山本 久美子

(理学療法学科 山本 純志郎の保護者)

クラブ活動に明け暮れ、中高と大した苦労もせず、また勉強もせず過ごしてきた彼が初めて味わった挫折・・・浪人生活。この時から改めて自分の夢と真剣に向き合うようになったように思います。“何があっても理学療法士になるんだ”という思いはぶれることはありませんでした。

一浪の甲斐あって畿央大学に入学した彼は大学でも次々と自分の夢を膨らませていったようでした。大学での学習以外にも、学生団体での活動やAP TSAという組織を通じて実際に海外へ行った経験は彼の視野を広げる大きな刺激になったようです。

自宅通学にもかかわらず 仕事にかまけてほとんど家にいない親のおかげか 結構自立心もついたかもしれません。そんな中でも私の一番の思い出は実習先の長崎へ家族全員で観光ついでの陣中見舞いに出かけたことでしょうか…

就職も決まった彼は 今度は大学院にも行くそうです。彼なりの医療理論を解ったような、解らないような耳で聞きながら今をゴールとせず、まだまだ学びたいという欲求を持ち、次を目指す彼を頼もしく見つめている母です。

のびのびと夢をもって大学生生活を送れたのは、学生の思いに寄り添い支えていただいた畿央大学の支援体制と自由で温かな環境のおかげだと思い、心より感謝しております。これからも幾度となく転びながらも、志をもってしっかり人生を歩んでいけると信じています。

畿央大学でよかった

畑中 千津

(看護医療学科 畑中 満の保護者)

看護師になる、幼い頃からの夢を叶えるため、畿央大学に入学し、あっという間に4年間が過ぎました。学業に遊びに忙しい日々を送っていたけれど、息子の話を聞いているだけで私まで楽しくなる、そんな4年間でした。大学生活の中で知らず知らずのうちに、責任感や行動力を身につけており、いつまでも子どもだと思っていたのは親だけかもしれません。

就職先は、実習の中で自分なりに働きたい病院を見つけ、キャリアセンターの方々

に細かいアドバイスをしていただき、6月には内定をいただきました。本当に感謝しています。

国試においては、1期生という事もあり、かなりのプレッシャーの中、講義のないときも大学に行き、空き教室や図書館、先生のお部屋にもお邪魔し、解らないところがあればすぐに聞いて解決していたようです。定期的にある模試の結果が少しずつ上がっていたことも頑張れた1つの要素になっていたのかもしれませんが。国試を終えて自己採点の結果を聞き、2人で涙して喜びました。

最後に台風12号で被災した天川村にボランティアで来てくれた息子の友達に心より感謝し、たくさんの絆に出会えた事を誇りに思い、看護師として頑張ってもらいたいと思います。

成長に喜びを感じています

吉田 照代

(健康栄養学科 岡田 将利の保護者)

「大学に行きたい」高校3年生の春、息子からその言葉を聞いたときはびっくりしました。工業高校に通っていた息子は、卒業後に就職するつもりでいたようですが、私の体が丈夫でない事や、自身のステップアップのために進学を決意したようでした。

大学に入学後は、私の体に良い食事を考案してくれたり、私にどのような物を食べてよいか、どのような物は控えた方がよいかなどアドバイスしてくれました。また、私が体調を崩し長い入院生活を強いられたときには、家族の食事を毎日作ってくれ、とても助けになりました。

大学では、さまざまな臨地実習や教育実習などがあり、忙しい毎日を送っていたと思います。また、就職活動では、東日本大震災もあり例年に増して厳しい状況の中で、キャリアセンターの方々や学科の先生方など恵まれた環境で無事決めることができ、安心しています。

4年生では、卒業研究を履修し、毎日朝早くから夜遅くまで研究に没頭し、帰りが遅くなると心配することもありましたが、卒業研究を終えた息子は達成感に満ち溢れ、成長することができたのではないかなと思っています。

親にしかできない 就職活動サポート

田上 訓子

(人間環境デザイン学科 田上 千穂の保護者)

就職氷河期という時代の中での就職活動は、辛く過酷な道だと思います。就職に関しては娘の自主性に任せていましたが、約1年かけて就職活動に取り組み何十社と面接を受けてはあと一歩のところまで内定まで届かず、何が正しく何が悪いのか悩んでい

たことだと思えます。その際にキャリアセンターでいろいろと相談に乗って頂き、親としても大変感謝しております。

家庭ではその日にあった出来事などを話しやすいような環境作りに徹し、ストレスをため込まないよう同じ目線で会話をする機会を設け、陰ながら応援してきました。

これから就職活動を見守る保護者の皆様へ、我が子が迷ったときや悩んだときに、いつでもそばにいる存在でいなければならない、無関心でなく、かつ過保護でもいけない、親に求められる役割はとても高度で難しいものですが、就職活動の中で我が子がどのような悩みを抱え、どこで困るのかを理解し、我が子にとって必要であり本当に役に立つ親にしかできないサポートが大切だと思います。

巣立つ息子へのエール

金原 悦子

(現代教育学科 金原 勇仕の保護者)

「母さん、こんな大学があった！」

高校時代、部活動に熱中するあまり大学選びに焦っていた息子は、塾の先生の勧めで下さった大学に飛びつきました。私もその時に初めて畿央大学を知りました。どのような大学なのか何も知らないまま、分からぬまま、不安な気持ちで送りだしましたが、一年、二年と経つうちに、180度大学に対する思いが変わりました。

男の子ですし、下宿から週末に帰って来た時も自分のことはさっぱり話してくれませんが、それでも言葉の端々に大学が楽しく、のびのびとやっている様子を知ることができました。

教職支援センターの方々にはとてもお世話になったようで、知らぬは親ばかりで申し訳ありません。今ここで心からお礼を申し上げます。実習も、本来なら中学で転校してきたため認められない実家の地域の公立の小学校に教職支援センターの方々の尽力で行かせて頂くことが出来ました。その小学校には卒論のこともお世話になり、これらのことは、教職支援センターの方々の支えがなければ叶わなかったことでしょう。

教員採用試験のための勉強も熱心にして頂き、ずっと目指してきた小学校教諭の夢を現実のものとする事ができたのは、この大学で良い友人に恵まれ、教職員の支えと導きがあったからこそと思います。それらは、息子にとってかけがえのない大きな宝となったことでしょう。

教育の現場に出れば嫌なこと、辛いことが沢山あり挫けそうになることもあるでしょう。こども達の事で悩みもするでしょう。けれどもまたこども達から癒され、励まされるでしょう。その喜びを知ることの出来る先生になってください。

大学で得た経験や人との出会いが次のステップとなりますように！

授業日カレンダー

注：①～⑯は各曜日の授業回数、※印のついた日は校舎内に入ることはできません。■は休講日

大学での授業は、前期・後期各15回行われます。①～⑯は授業曜日ごとの授業週数を表しています。⑮⑯週の最終授業期間は、独自の時間割で定期試験、平常授業、補講が行われます。曜日によっては15回の確保のため、祝日に授業を行うこともあります。

健康科学部

4月		5月		6月		7月		8月		9月	
日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容
1日		1火③		1金⑦		1日		1水⑯		1土	
2月		2水 休講日		2土⑦		2月⑪		2木⑯		2日	
3火	入学式	3木 憲法記念日		3日		3火⑫		3金⑯	前期成績・後期学納金納入票発送	3月	
4水		4金 みどりの日		4月⑦		4水⑫		4土⑯		4火	
5木		5土 こどもの日		5火⑧		5木⑫		5日		5水	
6金		6日		6水⑧		6金⑫		6月⑯		6木	
7土		7月④		7木⑧		7土⑫		7火		7金	
8日		8火④		8金⑧		8日		8水		8土	
9月		9水④		9土⑧		9月⑫		9木		9日	
10火		10木④		10日		10火⑬		10金		10月	
11水	①授業開始	11金④		11月⑧		11水⑬		11土		11火	
12木	①	12土④		12火⑨		12木⑬		12日		12水	
13金	①	13日		13水⑨		13金⑬		13月		13木	
14土	①	14月⑤		14木⑨		14土⑬		14火		14金	
15日		15火⑤		15金⑨		15日		15水		15土	
16月①		16水⑤		16土⑨		16月⑬ 授業日(海の日)		16木		16日	
17火①		17木⑤ 履修登録変更メット		17日		17火⑭		17金		17月 敬老の日	
18水②		18金⑤		18月⑨		18水⑭		18土		18火	
19木②		19土⑤		19火⑩		19木⑭		19日		19水	
20金②		20日		20水⑩		20金⑭		20月		20木	
21土②		21月 創立記念日(補講日)		21火⑩		21土⑭		21火		21金	
22日		22火⑥		22金⑩		22日		22水		22土	秋分の日
23月②		23水⑥		23土⑩		23月⑭		23木		23日	AO入試・大学院入試※
24火②		24木⑥		24日		24火⑮		24金		24月	
25水③		25金⑥		25月⑩		25水⑮		25土		25火	
26木③		26土⑥		26火⑪		26木⑮		26日		26水	
27金③		27日		27水⑪		27金⑮		27月		27土	履修登録(3回生)
28土③		28月⑥		28木⑪		28土⑮		28火		28金	
29日	昭和の日	29火⑦		29金⑪		29日		29水		29土	
30月③	③授業日(昭和の日振替休日)	30水⑦		30土⑪		30月⑮		30木		30日	
31木⑦		31水⑦		31火⑯		31金					

教育学部

4月		5月		6月		7月		8月		9月	
日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容
1日		1火③		1金⑦		1日		1水⑯		1土	
2月		2水 休講日		2土⑦		2月⑪		2木⑯		2日	
3火	入学式	3木 憲法記念日		3日		3火⑫		3金⑯	前期成績・後期学納金納入票発送	3月	
4水		4金 みどりの日		4月⑦		4水⑫		4土⑯		4火	
5木		5土 こどもの日		5火⑧		5木⑫		5日		5水	
6金		6日		6水⑧		6金⑫		6月⑯		6木	
7土		7月④		7木⑧		7土⑫		7火		7金	
8日		8火④		8金⑧		8日		8水		8土	
9月		9水④		9土⑧		9月⑫		9木		9日	
10火		10木④		10日		10火⑬		10金		10月	
11水	①授業開始	11金④		11月⑧		11水⑬		11土		11火	
12木	①	12土④		12火⑨		12木⑬		12日		12水	
13金	①	13日		13水⑨		13金⑬		13月		13木	
14土	①	14月⑤		14木⑨		14土⑬		14火		14金	
15日		15火⑤		15金⑨		15日		15水		15土	
16月①		16水⑤		16土⑨		16月⑬ 授業日(海の日)		16木		16日	
17火①		17木⑤ 履修登録変更メット		17日		17火⑭		17金		17月 敬老の日	
18水②		18金⑤		18月⑨		18水⑭		18土		18火	
19木②		19土⑤		19火⑩		19木⑭		19日		19水	
20金②		20日		20水⑩		20金⑭		20月		20木	
21土②		21月 創立記念日(補講日)		21火⑩		21土⑭		21火		21金	
22日		22火⑥		22金⑩		22日		22水		22土	秋分の日
23月②		23水⑥		23土⑩		23月⑭		23木		23日	AO入試・大学院入試※
24火②		24木⑥		24日		24火⑮		24金		24月	
25水③		25金⑥		25月⑩		25水⑮		25土		25火	
26木③		26土⑥		26火⑪		26木⑮		26日		26水	
27金③		27日		27水⑪		27金⑮		27月		27土	履修登録(3回生)
28土③		28月⑥		28木⑪		28土⑮		28火		28金	
29日	昭和の日	29火⑦		29金⑪		29日		29水		29土	
30月③	③授業日(昭和の日振替休日)	30水⑦		30土⑪		30月⑮		30木		30日	
31木⑦		31水⑦		31火⑯		31金					

後援会総会・保護者懇談会のご案内 7月7日(土)

今年度は7月7日(土)の予定で後援会の総会と保護者懇談会を開催します。後援会総会後の懇談会は、最近の話題をテーマにした講演、授業内容や就職状況の紹介、クラス担任との個別相談と内容は多彩です。また、保護者の皆様と教員の懇親会は、なごやかな雰囲気でご様に好評をいただいております。後日ご案内状を郵送させていただきますのでぜひご参加ください。

KIO'S Smile Site をご覧ください

畿央大学のホームページからKIO'S Smile Siteに入ることができます。Smile Siteでは、本学各学科の取組やクラブ活動、地域連携の取組など様々なイベントや取組を紹介しています。学生の広報スタッフによるイベントの紹介や研究室突撃レポートなどもあり、日々新しい情報をご提供しています。ぜひご覧ください。

冬木学園へのご支援のお願い

学校法人冬木学園は、「徳をのばす、知をみがく、美をつくる」という建学の精神のもとに、たゆまぬ教育活動を行ってきました。学園創立以来60余年を迎えた現在は、幼稚園、高校、大学、大学院を有し、昨今の厳しい教育環境のなかでも、冬木学園への社会的評価は年々高まっています。このように冬木学園が発展してこれましたのも、卒業生や保護者の方をはじめ学園を支えてくださるみなさまのおかげと厚く御礼申し上げます。

これからも学園の評価を更に高め、社会のニーズに応えるためには、教育・研究活動の充実や学生・生徒への奨学金制度の充実など、より多くの資金が必要になってまいります。つきましては、冬木学園の建学の精神に賛同しご協力頂ける皆様方に寄付金を募集させて頂きたくご案内申し上げます。

◎ 寄付のお申込方法

法人事務局総務部にお問い合わせ下さい。

TEL：0745-54-1603 E-mail：houjin@kio.ac.jp

◎ 寄付金の控除

冬木学園は特定公益増進法人に指定されていますので、個人の皆様からのご寄付については、寄付金から5千円を差し引いた金額が所得額から控除できます(所得の40%以内)。